

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	鈴木 とも恵
主な担当科目	
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	個々が毎回のレッスンで達成感を感じられる様な指導と、声を出す楽しさを持てるレッスンを心掛ける。 そして、次回のレッスンまでの問題解決と練習方法を指導をする。
2024年の教育に関する自己評価	体調管理、モチベーションの高さ、練習時間の確保等によって、其々の成長を実感している。 学年があがるにつれて、声を出す事だけでなく、オペラ全体を通した内容や、イタリア語にも興味が広がり意欲的な取り組みが感じられた。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD研修会では他の部会や非常勤の先生方と学生の問題や授業の運用上の問題を共有できる貴重な機会である。問題点を共有し、解決に向けて方向性を導き出せた。
授業改善のために取り入れた研修内容	FDでは特に、留学生とのコミュニケーションの取り方について問題提起される意見が多かった様に思われた。 留学生が益々増える傾向にあるが、具体的、授業が円滑に進めていける様、議論を継続する必要がある。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1731 教員名:鈴木とも恵

1)アンケート結果に対する所見

アンケートは 19 名の受講者から 6 名の回答である為、学生の意見が拾い上げられているか疑問が残るが、6 名の回答から、学生の意見を汲み取りたいと考える。Q1、Q5、Q6 の設問に関して、6 名“そう思う”と回答している。

Q5 自分はこの授業に興味や関心を持って出席している

Q6 授業は学修成果を得る為の工夫がなされている

この回答から、学生は意欲的に取り組み、教員は学生から興味を引き出せる授業の提供ができているという、非常によい結果であると考ええる。

Q2, Q4, Q9, Q10設問の回答から、ほぼ全員が満足していると捉えられる結果である。

2)要望への対応・改善方策

授業は学生とのコミュニケーションに努めながら進められているか(Q7)

自分はこの授業の予習・復習をしている(Q8)

この設問に関して、学生と共有できていないことがわかる。Q7に関しては、一方的な授業にならない様、改善していくべきだと考える。

Q8に関しては、授業を受ける前の準備についてシラバスに記載したいと考える。

3)今後の課題

今回の、改善方策に記載した内容を参考に、来年の授業に臨みたいと考える。

以 上